

# 流域治水に係る情報提供

令和6年3月21日  
本川流域水害対策協議会

# 特定都市河川の指定状況①

## ■ 流域水害対策計画の策定状況

	水系名	河川名	計画策定年月日	策定者		
				国	都道府県	市区町村
1	鶴見川	鶴見川	H19.3.14	関東地整	東京都 神奈川県	横浜市 川崎市 町田市 稲城市
2	庄内川	新川	R3.12.21	—	愛知県	名古屋市 一宮市 春日井市 犬山市 江南市 小牧市 稲沢市 岩倉市 清須市 北名古屋市 あま市 豊山市 大口町 扶桑町 大治町
3	淀川	寝屋川	H26.8.5	—	大阪府	大阪市 守口市 枚方市 八尾市 寝屋川市 大東市 柏原市 門真市 藤井寺市 東大阪市 四條畷市 交野市
4	巴川	巴川	R3.7.6	—	静岡県	静岡市
5	境川	境川	H30.10.5	—	愛知県	名古屋市 刈谷市 豊田市 安城市 東海市 大府市 知立市 豊明市 日進市 みよし市 東郷町 東浦町
6	猿渡川	猿渡川				
7	引地川	引地川	H276.5	—	神奈川県	藤沢市 茅ヶ崎市 大和市 海老名市 座間市 綾瀬市
8	大和川	大和川	R4.5.27	近畿地整	奈良県	奈良市 大和高田市 大和郡山市 天理市 橿原市 桜井市 御所市 生駒市 香芝市 葛城史 宇陀市 平郡町 三郷町 斑鳩町 安堵町 川西町 三宅町 田原本町 高取町 明日香村 上牧町 王寺町 広陵町 河合町 大淀町
9	本川	本川	R5.3.31	—	広島県	竹原市
10	肱川	都谷川	R5.12.19	四国地整	愛媛県	大洲市

法改正後

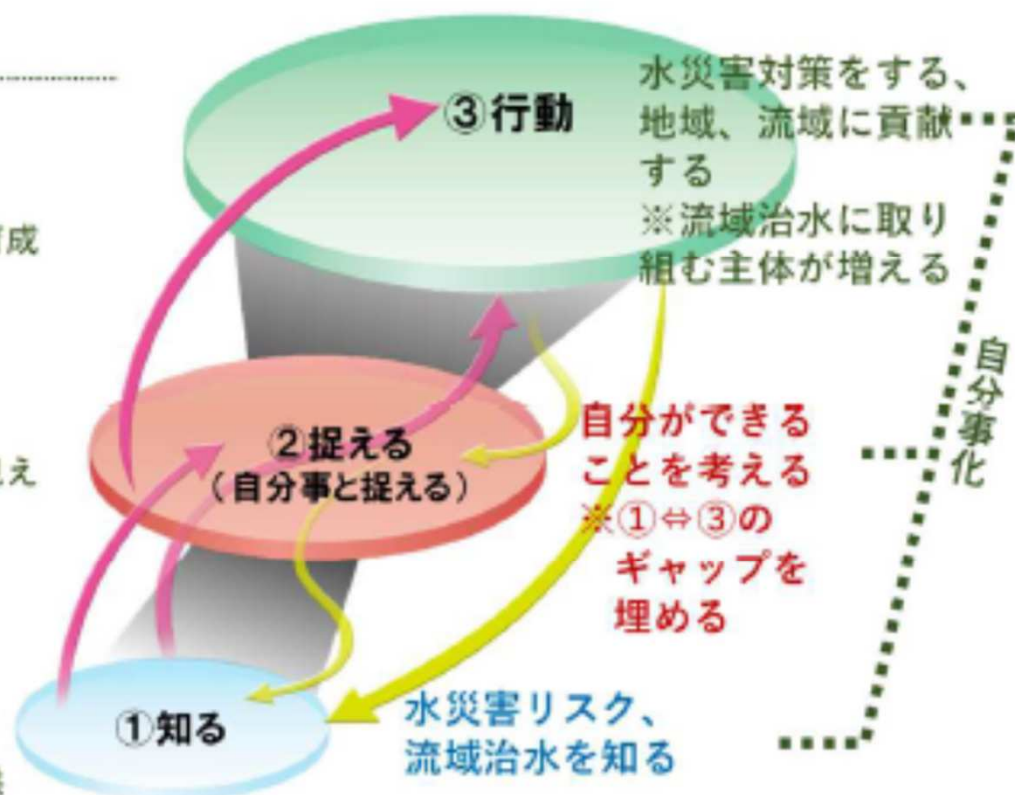


## 流域治水の自分事化

### 流域治水に取り組む主体を増やすための取組方針

#### 取組みの例

- ・要件化・基準化
- ・トッランナーの育成
- ・流域治水への貢献
- ・ビジネスへの支援
- ・流域対策への支援
- ・取組み、効果の見える化
- ・連携活動
- ・教育活動
- ・流域治水の広報
- ・リスク情報等の提供



意識の醸成を図り、  
国民運動、  
日本の文化に

日々の生活の中で水害、  
防災のことが意識され、  
全国的に水災害リスクの  
自分事化が図られ、その  
視野が流域に広がり、  
社会全体が防災減災の質  
を高めるとともに、持続  
的に発展していく。

出典：国土交通省HP

## 流域治水の自分事化 流域治水の推進イメージ（きっかけは様々）

### by ALL の流域治水

2℃の気温上昇時、洪水ピーク流量は2割増(4℃上昇時4割増)。河川区域の対策だけでは対応できない。

流域のみんなで、自然、産業を含め文化として治水に取り組む。



River Basin Disaster Resilience and Sustainability by All



- ◎持続的に開発しつつも社会的機能を維持しながら災害に備える二刀流方式
- ◎人と人、自然と人、自然と自然のつながり
- ◎流域を俯瞰した取り組み（山川海全部含めて流域治水）



出典：国土交通省HP

# 流域治水シンポジウムの開催①

本県では、流域治水の推進に向け広島県流域治水シンポジウムを開催

開催概要（項目）	内容
シンポジウム開催の目的	流域治水の「深化」を図り、『by all』あらゆる関係者が連携し総合的な防災・減災対策を推進するため国、県、市町の流域治水に関わる担当者の知見を広げて頂くことを目的とした。
開催日時・場所	2023年11月27日（月）13時30分～16時30分・YMCA広島国際文化センター国際文化ホール
開催方法（参加者数）	対面（55人）及びweb（70画面）のハイブリッド方式
シンポジウムの内容	基調講演／流域治水の情報提供／全国や県内市町の事例紹介／意見・ディスカッション



**基調講演 内田准教授(広島大学)**  
 気候変動に適応する社会の構築が喫緊の課題である中、**流域治水に至る考え方や近年での流域治水の法体制の発展等**について幅広く講演頂きました。



**流域治水の情報提供 大山課長(国土交通省)**  
**流域に係わるあらゆる関係者が協働し流域治水を推進していくことの重要性や自分事化等の具内な取組**を紹介頂きました。



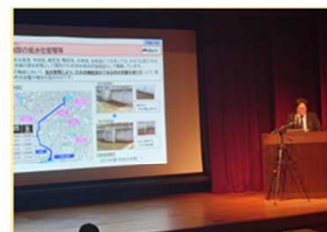
**全国の事例紹介 藤原主査(広島県)**  
**「氾濫をできるだけ防ぐ・減らす」「被害対象を減少させる」「被害の軽減、早期復旧・復興」**の3本柱に着目し、全国の流域治水に係る事例を紹介しました。



**広島市の事例紹介 岡部氏**  
 中心市街地での浸水被害を防ぐための**雨水流出抑制施設の設置に係る指導や、止水板設置費用の一部補助の導入実績**を紹介頂きました。



**竹原市の事例紹介 咽原氏**  
 本川流域における内水対策として、雨水排水施設整備や、既存ポンプ場の排水能力の強化等、**整備による効果（浸水想定区域の減少）**を交えて紹介頂きました。



**福山市の事例紹介 村上氏、江口氏、春花氏**  
**貯留施設の低水位管理、中学校校庭下の雨水貯留施設整備、洪水ハザードマップの作成・周知**について、ハード面・ソフト面の実績を紹介頂きました。



**三次市の事例紹介 熊谷氏**  
 平成30年7月豪雨による浸水被害を踏まえ施行した、土地利用に関するルールを定めた**「土地利用規制に関する条例」**について紹介頂きました。



**東広島市の事例紹介 彌勒氏**  
 農地の宅地化に伴い**廃止となったため池を雨水貯留施設へ転換**することにより、利水から治水への貯水量の確保を図った実績を紹介頂きました。

# 流域治水シンポジウムの開催②

シンポジウムにおいてアンケートを実施し、自治体関係者の現状認識や課題・要望等を把握

## 現状の認識

必要性は理解

具体的に何をすればよいのかわからない

これまでどおり自分の部局の取組を進めていくしかない

## 課題・知りたいこと・要望

- ・ 住民・企業の意識を高める必要
- ・ 水害発生メカニズム
- ・ 他部局への周知
- ・ 他市町・全国の取組事例
- ・ 活用できる予算・制度
- ・ 特定都市河川の指定
- ・ 取組体制の強化
- ・ 流域の目標設定・役割分担
- ・ 取組効果の見える化（定量化）

住民・企業の  
意識醸成

分野間の連携強化

## 必要な取組

地域のリスクを日々の生活の中で意識する  
水害リスク情報の充実化

流域治水対策の必要性や内容をわかりやすく伝えるための  
流域治水プロジェクトの改善

流域治水の意義や必要性を広報するための  
シンポジウム開催  
パンフレット配布

流域治水協議会等を活用した  
流域治水に関する最新の情報共有

各流域の地域特性や各分野の事業特性に応じた  
市町毎または分野毎の  
担当者レベルの勉強会の開催